

びらとり

北海道
平取町

トマト^で

新規就農 **Guide**
ガイド

平取町は北海道NO.1のトマト産地です

- ◆ 小規模で安定経営が可能
- ◆ 就農時補助金500万円
- ◆ 研修生住宅完備
- ◆ 研修から就農までしっかりとサポートします！

びらとり トマト 蕃茄

最高に

小規模で
大型機械を必要とせず
価格も安定している

トマトは
新規就農に
最適です
努力次第で
安定した
農業経営が
可能なのです

美味い

平取町は北海道日高地方に位置し、人口4,500人農家戸数243戸、耕地面積3,900haの農業を基幹とする町。

北海道の中でも降雪量が少なく、夏に冷涼な気候は、トマトづくりに最適な環境です。

令和5年の販売額が約37億円と、全道一のトマト産地・平取町で作られた栄養豊かでおいしいトマトは、遠く関西まで出荷されています。

充実した支援システム で研修生をバックアップ

知らない土地で新たに農業をはじめると、とても不安になると思います。

平取町のトマト栽培では、大型選果施設の完備により販売システムが整っており、共同育苗施設、土壌診断施設、研修実践農場、営農指導体制などの支援システムも充実。

そしてトマト農家約140戸は、新規就農者をとても好意的に受け入れています。

また平取町では、新規参入者に対し、就農時500万円を上限に補助金を支給しています。

“本当に農家をやっている人”を募集

良い作物と支援体制がいくら充実していても、新規就農は簡単なことではありません。

就農するためには、農地や施設など多額の資金が必要であり、農作業は不規則で労働時間も長く、就農できずにリタイヤする人もいます。

平取町では、自己資金があり多少の困難があっても乗り越えられる《本当に農家をやっている人》意欲ある元気なご夫婦を募集しています。

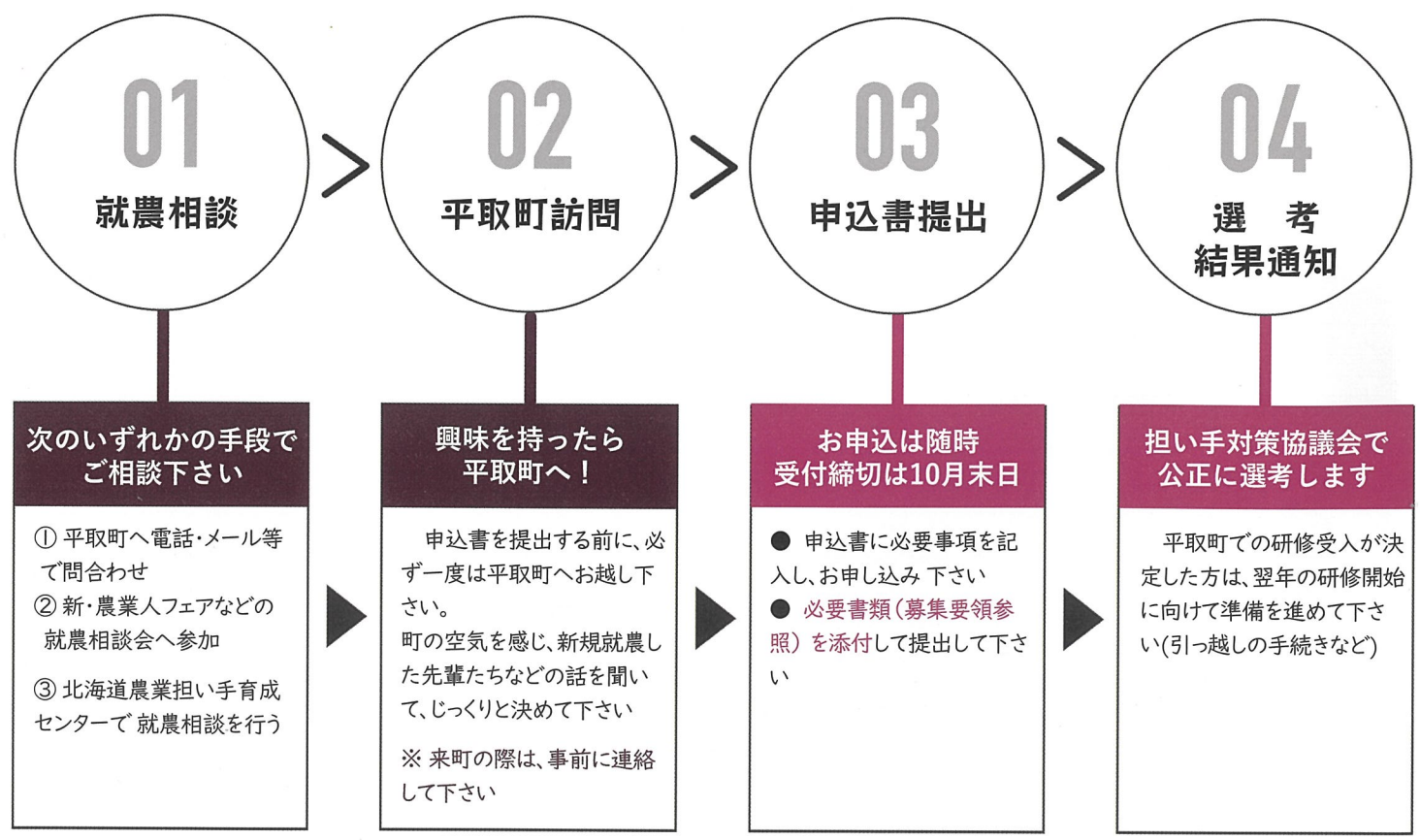
専門スタッフや 先輩たちがサポート

平取町地域担い手育成センターは、平取町農業支援センターに専門スタッフを置き、農業や生活環境に関する相談・質問に、メールや電話で親切に対応しています。

どんな小さなことでも、お気軽にご相談ください。

また、新規就農者や地域の農業者でつくる就農支援組織が各地区にあり、就農や生活にかかわる様々なことに関してアドバイスしています。地域一体となって研修から就農までサポートします。

就農までのフローチャート



平取町新規参入希望農業研修生募集要領



募集戸数
2 戸
定員になり次第
申込締切



対象作物
トマト
きゅうり等
施設野菜



研修期間
2年間
2年目は
研修手当支給



1 参入条件

- ① 経営者(世帯主)の年齢が20歳以上45歳以下の心身共に健康で、自立経営を営む能力を有する者
- ② 平取町内に就職し自立経営を営むこと
- ③ 農業経営に対する家族の積極的な協力が得られ夫婦で研修できること
- ④ 十分な自己資金があること(500万円以上)
- ⑤ 就農まで研修カリキュラムに従い、2年間程度の研修を受けること
- ⑥ 就農後はJAびらとりの組合員となること

2 平取町の支援対策

- ① 新規就農者用リース農場をJAびらとりが整備し町が500万円を上限に整備費用を助成
- ② 農業大学校等で開催される機械化研修、経営研修の受講にかかる費用の全額を助成
- ③ 研修生住宅(3LDK4棟8戸)を完備
- ④ 研修2年目は研修手当を支給

※ その他、国、北海道農業担い手育成センター等による就農支援も活用できます

3 申込方法

- ① 申込書提出前に就農相談を行い、現地調査のため必ず平取町にご来訪ください
- ② 申込書に必要事項を記入し必要書類を添えて提出してください

申込に必要な書類

- 申込書(ウェブサイトよりダウンロード★)
- 住民票
- 健康診断書(本人および配偶者)
- 自己資金を証明する書類(預貯金残高証明書等)
- 個人情報利用目的説明書(★)



Welcome!

研修期間中および就農後2年間は農業研修生住宅に住むことができます

就農時、リース農場整備費用として町が

500万円
助成します

05
農家研修

06
実践農場で研修

就農
**JAリース農場
で就農**

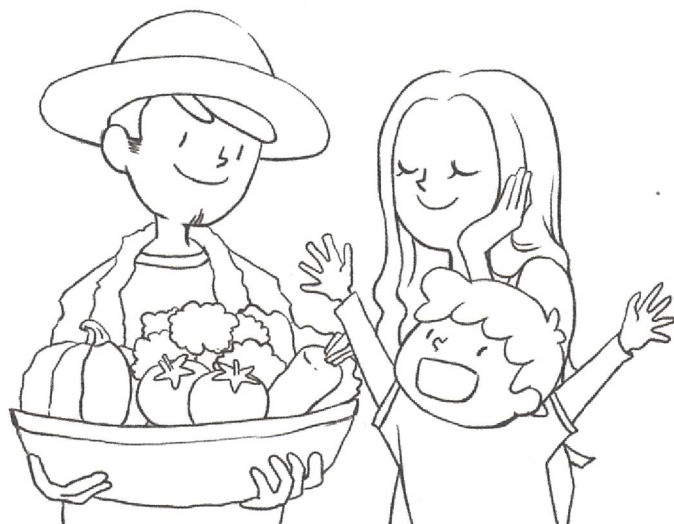
研修1年目
4月～農業研修スタート

11月頃まで受入農家さんのもとで研修し農作業を覚えます

就農予定地の調査もこの時期から行うほか、農業大学校での経営研修やトラクターなどの操作方法を習得する機械化研修などを受講します

研修2年目
実際にトマトを栽培する研修です

農家研修終了後、12月頃から翌年の収穫後の片付けが終わる11月頃まで実践農場のハウス管理をお任せします。この間、資金の借入や農地確保の手続き、リースハウスの建設計画など就農に向けた具体的な準備を進めていきます



トマト農家の仕事

平取町のトマト農家の仕事は、大型機械の操作や極端な力仕事は少ないですが、常に作物と向き合いながらの細やかな栽培管理が求められます。

7～8月は忙しさのピーク。出荷量が一番多い時期であり、栽培管理作業も並行して行うため、夜明けとともに仕事に取り掛かります。11月半ばにすべての出荷が終了し、後片付けや翌年の栽培に向けた準備を行います。

冬の間は天候により除雪の必要な時もありますが、ハウス内作業は少なく、自由な時間を多く持つことができます。

タイムテーブルの一例



	6月	12月
0:00		
1:00	睡眠	睡眠
2:00		
3:00		
4:00	朝食	
5:00	苗に水やり	
6:00		
7:00	収穫	朝食
8:00	出荷	
9:00		ゆっくりタイム 除雪など
10:00	管理作業 ベッド作り	
11:00		
12:00	昼食 昼寝	昼食 昼寝
13:00		
14:00		
15:00	管理作業	ゆっくりタイム 除雪など
16:00		
17:00	定植準備	
18:00	夕食	夕食
19:00	子どもの習い事に付き添い	子どもの習い事に付き添い
20:00		
21:00	風呂	風呂
22:00		
23:00	睡眠	睡眠

年間作業スケジュール



実践農場と研修生住宅

農業研修生は、研修1年目に農家研修で農作業全般を習得し、2年目には実践農場でトマトの実際栽培を行います。

ここでは800坪のハウスを使い、受入農家の指導を受けながら、土づくりをはじめとした環境整備、苗の管理から定植後の栽培管理、収穫、出荷まで、一連の実践経験を積んでいきます。

このような研修システムにより、就農するための技術を確実に習得することができます。

また、実践農場は紫雲古津地区と振内地区の2カ所にあります。各農場の近くで安心して研修生活を送れるよう、研修生住宅を2棟4戸ずつ、計4棟8戸用意しています。3LDKの間取りで、家族一緒に住むことができます。



田島夫妻

に聞きました

田島英樹さん(札幌市出身)
斉代さん(東京都出身)

2016年研修開始
2018年経営開始

訪問介護サービス業経営からトマト農家に転身!

前職は、札幌で介護事業を営んでいたという田島さん。将来性を考えたときに、夫婦でできる別の仕事がしたいと思うように。

娘さんが小学校でトマトの栽培学習をしていたのを見て、農業も選択肢としてあるな、と考えるようになったそうです



トマトを新規就農の作物に選んだ理由は?

当初は子ども達が好きなイチゴや果樹での就農をイメージしてましたが、北海道農業担い手育成センターに相談したところ、収入が安定して得られやすいトマト栽培を勧められたので平取町のこともその時知りました

就農(研修)先を平取町にした決め手は何ですか?

農業体験会や現地訪問を通して町を気に入ったのと、平取町でならトマト専業でしっかり稼げそうだから、ですね

農家生活はどうですか?

体力的にはキツイこともありますけど、精神的にはゆとりがあるし、楽しいと思うことが多いです(英樹さん)

農業と家事・子育ての両立は大変です!思うように出来なくてストレスに感じることも。ただ、就農してからは夫の自立心が強く表れるようになって、頼もしいです(斉代さん)

田島さんの就農時の整備内容 (トマト専業)	
農地面積	1.4ha
導入した施設機械	パイプハウス125坪×10棟 農機具庫、軽トラック トラクター(50馬力) 畝立機、動力噴霧機 暖房機、灌水設備

平取町に移住して良かったと思うことは?

同年代の農家が多く、みんなで焼き肉をするなど楽しく交流させてもらってます。子ども達ものびのびと過ごしてますね(英樹さん)

ご近所から畑でとれた野菜などを分けてもらえるのがうれしいです。新鮮でおいしいものが食べられるのは、都会ではなかなか味わえないことですよ(斉代さん)

新規就農をめざす方たちにメッセージをお願いします

最初は色々不安もあると思いますが、農作業は回数を重ねるうちに慣れていけます。作業や栽培で失敗することがあっても、困ったときには地域のの人に相談すれば助けてくれるので大丈夫!諦めずチャレンジする気持ち大切です

前職は病院事務と看護師。転勤生活に別れを告げ農業の道へ



病院勤務だった野原さんご夫妻。転勤の多い職場で、函館、仙台など引っ越しも延べ日回程。その目まぐるしさに疲弊し「北海道で落ち着きたい」と転職を考えるようになった、という亮平さん。

農業に最初に興味を持ったのは、家庭菜園を楽しんでいた亜希子さんの方でした

野原夫妻

に聞きました

野原 亮平さん(幕別町出身)
亜希子さん(赤平市出身)

2017年研修開始
2019年経営開始

平取町を知ったのはいつですか?

2016年4月に北海道農業担い手育成センターで新規就農・農業体験セミナーを開催されるのを知ったので、ひとりで行ってみようと思いましたが、夫に話したら意外と乗ってきて、一緒に行こうということに。そこで平取町を紹介され「次回のセミナーに平取町が来るから話を聞いてみては」と勧められたので、有給休暇をとって参加しました(亜希子さん)

就農(研修)地を平取町に選んだ決め手は何ですか?

実は農業公社に勧められた時から平取町しか考えていませんでした。4月にセミナーで相談した後、6月に現地訪問、7月には農業体験会に参加してみて、研修から就農までの支援制度がしっかりしていて、就農地もありそうだし、トマトをきちんと作れば生活していけそうだなと感じたので(亮平さん)

体力面や農作業で辛いことはありますか?

最初はやっぱり体がキツかったけど、なんとかやっていけそうだという手応えも感じました。農家には道具や機械が揃っているのも、すべてが手作業だった家庭菜園よりも、楽だと思えることもありますね(亮平さん)

就農して良かったと思うことは?

農家になって後悔は全くないですね。前職の時のような人間関係のしがらみは少ないし、自分の考えて仕事ができる。その分責任は重くなるけれど、その重さも心地よく感じています。自分たちの作ったトマトを他の人に食べてもらって、美味しいと言ってもらえるのが嬉しいし、モチベーションも上がります。こういう成果が目に見える経験は、サラリーマン時代には得られなかったものだな、と(亮平さん)

農業に興味を持ったのは私が先ですけど、今は夫のほうが楽しんでやってるかも(笑)(亜希子さん)

今後の目標を教えてください

効率的に仕事ができるよう心がけ、元気に長く農業を続けたい。2人で出来る規模で経営し、この暮らしを楽しんでいきたいです

子育てにやさしいまち

こどもの医療費実質無料

- 中学生までの子どもの医療費の自己負担分は「子育て支援医療費還元事業」として、平取町金券で還元されます
- 4種混合、B型肝炎などの定期予防接種を平取町国保病院で実施しています
インフルエンザワクチンについては、就学前まで無料です

保育料は全年齢無償 0歳児保育に対応

認定こども園 1カ所

バチラー保育園

認可保育所 3カ所

振内、弥生(貫気別)、二風谷

- 認定こども園、認可保育所ともに0歳児(6か月以上)からの保育に対応しています

医療体制

平取町国保病院

- 平取町国民健康保険病院は令和元年に建て替えられ、病床数42、内科・外科に医師3名体制で診療しています
- その他の診療科目は、皮膚科・循環器内科・眼科・整形外科・物忘れ外来があり、派遣医師が診療しています
- 高齢者の肺炎球菌ワクチンは65歳以上の方を5年ごとに対象とし1回無料、インフルエンザワクチンは65歳以上半額助成となります

妊娠・出産への支援

赤ちゃん誕生祝金

- 「すこやか赤ちゃん誕生祝金」として、第1子第2子はそれぞれ150,000円
第3子は300,000円
第4子以降は400,000円を支給しています(居住要件あり)

平取町の 独自政策

妊婦健診/出産

- 妊婦健診の交通費
1,640円/回(15回まで)、
出産準備に係る宿泊費
3,400円(5泊まで)を助成

不妊治療への助成

- 一般不妊治療5万円/1夫婦
- 特定不妊治療5万円/回を
通算50万円まで/1夫婦
- 先進不妊治療5万円/回を
通算30万円まで/1子

児童クラブと 放課後こども教室

- 小学生の放課後の居場所として、本町に児童館(児童クラブ併設)、振内町に児童クラブを開設しています
- 放課後子ども教室は紫雲古津小学校、二風谷生活館、貫気別生活館で開設されており、いずれも無料です



バチラー保育園

金融機関

郵便局 4カ所

本町、振内町、貫気別、荷負

JAびらとり 3カ所

本町、振内町、貫気別



JAびらとり

振内診療所と歯科

- 振内地区には振内診療所があり、総合外来の診療をしています
- 歯科診療所は本町2カ所、振内1カ所、貫気別に1カ所あります

平取町国民健康保険病院



苫小牧信用金庫

本町に平取支店、振内「山の駅」にATMが設置されています

ローソン銀行ATM

ローソン平取本町店に設置されています

教育環境



地産地消の給食

給食費
無料

自校方式で温かく

● 学校給食は自校方式を採用しており、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、地産地消のおいしい給食を提供しています

ニシパの恋人ランチ

● 平取の特産品びらとり和牛やびらとりトマトなどを使った特別給食メニュー『ニシパの恋人ランチ』を年数回実施しています

美味しい!



ニシパの恋人ランチ

買い物

スーパーマーケット

【Aコープ】びらとり店、ふれない店
ぬきべつ店、野菜直売店(荷菜)

【ホクレンショップ】

FoodFarmルシナ店(日高町富川)

【エフェルマートごうや】(本町)

コンビニ

【セイコーマート】たんの店(本町)
振内店

【ローソン】平取本町店

ドラッグストアなど

● 近隣には、マックスバリュ、ドラッグストア、ホームセンターなどがあり、食料品や日用品の買い物には困りません

小中学校

小学校 5校

紫雲古津、平取、二風谷、振内、貫気別

中学校 2校

平取、振内

● バス路線から外れる地域からは、通学バスの運行があります

高等学校

● 道立の北海道平取高等学校があります

● 町では、保護者の負担を減らすため、通学費助成や制服購入費補助、見学旅行の参加費補助等を行っています

びらとり義経塾

受講
無料

● 2018年より、公営塾「びらとり義経塾」が通年開講されています

● 受講者の学力や進路に合わせたカリキュラムで行う個別指導により、一人ひとりの学習ニーズに沿った指導を行っており、町内の中学生と平取高校生は無料で受講できます



びらとり義経塾

遊び

二風谷ファミリーランド

● キャンプ場はオートサイト、バンガロー、フリーサイトがあり、周辺には野球場、テニスコート、パークゴルフ場や遊具施設のある広場もあり、家族や仲間みんなで楽しめます

にせ宇(ニセウ)園

● 本町から車で40分ほどの場所にあり、ヤマメ釣りとグルメが楽しめます

● 近くには『ニセウ・エコランドオートキャンプ場』があり、夏の夜には野生の蛍が見られます

レジャー

温泉

びらとり温泉ゆから

● やわらかい泉質とびらとり和牛が堪能できる食事が自慢の温泉宿『ゆから』。

露天風呂付の部屋が選べるほか、アウトドアを満喫できるグランピングでの宿泊も。また、日帰り入浴も可能です



キャンプ場のバンガロー



自然豊かなまち、びらとり

平取町は日本百名山に数えられる秀峰・幌尻岳（ほろしりだけ）を望み、5月下旬頃可憐な花を咲かせるすずらんは、野生の群生地としては日本一の面積を誇ります
また、町内を流れる沙流川は清流として名高く、国土交通省の水質調査では5年連続全国1位となっています

※ 幌尻岳を含む日高山脈山域は2024年6月、「日高山脈襟裳十勝国立公園」の名称で、国内最大の国立公園に指定されました

立地

新千歳空港やフェリーターミナルのある苦小牧に近く、本州とのアクセスは良好
高規格幹線道路（日高道）が整備され、本町から日高富川インターまでは10km、札幌は日帰り圏内です

S 札幌	100km	90分
C 新千歳空港	60km	60分
I 苦小牧	50km	60分

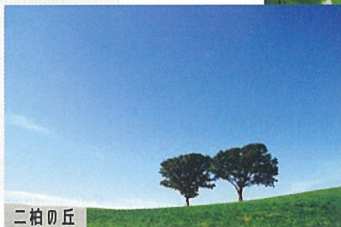
※いずれも本町から高速道路、日高道を利用した場合の所要時間

町内交通

道南バス

町内には『道南バス』が運行されており、通学や買い物などの移動手段として利用されていますが、便数が少ないため生活には

自家用車は必須です



人口

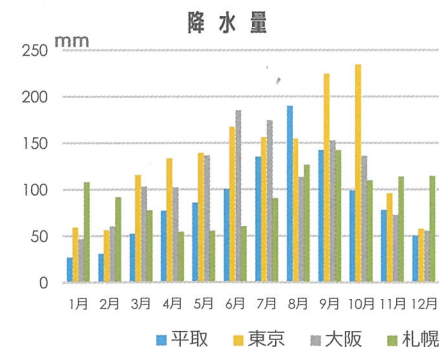
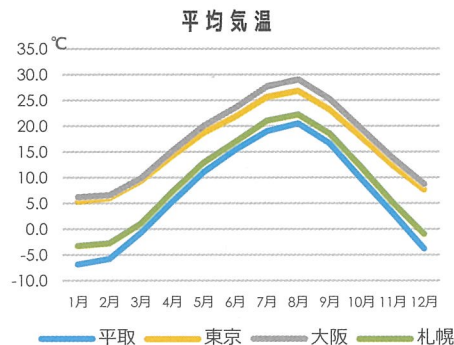
4,509人
(2024年7月末現在)

町内は本町地区、振内（ふれない）地区、貫気別（ぬきべつ）地区と3地域に居住地が分かれており、集落は17あります

気候

平均気温は8月で20.8℃
1月で-7.9℃

夏は涼しく、冬は北海道の中でも比較的温暖で雪が少なく、過ごしやすい気候です



お申し込み・お問い合わせ先

平取町農業支援センター

(平取町地域担い手育成センター)

〒055-0107

北海道沙流郡平取町本町40番地1

TEL 01457-2-2383

FAX 01457-2-4245

Email bas-centre.2383@cap.ocn.ne.jp

その他、詳しくは

平取町地域担い手育成センター

WEBサイトへどうぞ

<https://belucky.sakura.ne.jp/>



<https://www.facebook.com/biratori.nogyoshiencenter/>



<https://www.instagram.com/Biratori.ninaite/>



公益財団法人 北海道農業公社

北海道農業担い手育成センター

〒060-0005

札幌市中央区北5条西6丁目1-23

北海道通信ビル6階

TEL 011-271-2255

FAX 011-271-3776